

2026年上半期分 羽田空港貨物取扱量

1. 概 要

2026年上半期の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

積込量	186,953トン	(対前年同期比	4.9%増)
取卸量	188,239トン	(同	3.9%増)
総取扱量	375,192トン	(同	4.4%増)

となり、対前年同期比で積込量、取卸量、総取扱量全てにおいて増加となった。

2. 地域通関別動向について

(1) 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関 14,638トン (対前年同期比 31.0%増、シェア17.3%)

その他地域通関 69,731トン (同 2.2%増、同82.7%)

となっており、対前年同期比で羽田通関分、その他地域通関分ともに増加となった。

(2) 輸入量

羽田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

羽田通関 58,088トン (対前年同期比 4.4%増、シェア58.4%)

その他地域通関 41,431トン (同 0.7%減、同41.6%)

となっており、対前年同期比で羽田通関分は増加、その他地域通関分は減少となった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 102,584トン（対前年同期比 3.9%増）

取卸量 88,720トン（同 5.9%増）

となっており、対前年同期比で積込量、取卸量ともに増加となった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向（その他地域通関分を除く）

羽田空港で輸入された貨物（羽田通関分）を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 8,350トン（対前年同期比 3.5%減、シェア14.4%）

ドライ貨物 49,738トン（同 5.8%増、同85.6%）

となっている。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

（単位：トン）

		2026年上半期		2025年上半期	
羽田空港輸入貨物量		58,088	(104.4%)	55,659	(119.6%)
内 訳	生鮮貨物量	8,350	(96.5%) [14.4%]	8,651	(104.7%) [15.5%]
	ドライ貨物量	49,738	(105.8%) [85.6%]	47,008	(122.8%) [84.5%]

注（ ）内は対前年同期比、[]内は構成比である。

※この資料は再国際化以降についてコメントしています。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。

2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。